

# 自然観察NOW

NO: 20

野幌森林公園自然情報

発行: 2017年5月13日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://hokkaidou.me/volaren/>

## 春の毒草

木々の芽も膨らみ始めました。雪解けと共に野山にでかけ、山菜採りに出かける方も多いと思われます。しかし、ちょっと待って下さい。野山には誤って食べると命にかかわる毒草も生えています。北海道でも毎年のように毒草による食中毒が発生しており、注意が必要です。今回は、北海道の代表的な毒草について簡単に説明します。



### スズラン

スズランは花をつけていない状態だと、ギョウジャニンニクにととてもよく似ています。キジカクシ科の多年草で、東北、北海道に多く自生しています。緑色の葉は柔らかく、春から初夏にかけて花をつけます。毒は特に花や根に多く含まれます。体内に入った場合、嘔吐、頭痛、めまい、心不全、血圧低下、心臓麻痺などを起こし、重症になると命を落とします。スズランを生けた水を誤飲して命を落とした例もあります。

### ドクゼリ



ドクゼリはトリカブト、ドクウツギと並んで、日本三大有毒植物とされています。セリ科の多年草で、葉の状態や生育する環境もセリとよく似ているため、ドクゼリの若葉をセリと間違えて食べる人があとを絶ちません。葉がセリ独特の香りがしない、セリにはない根茎があることなどで、間違いを回避することができます。ドクゼリ全体に毒があり、皮膚からも吸収されやすいという特徴があります。体内に入ると、痙攣、呼吸困難、嘔吐、下痢、腹痛、めまい、意識障害などを起こし、命の危険が非常に高いものになります。症状が出たら、早急に医療措置を行わなければいけません。根茎をワサビと間違えて食べ、命を落とした例も報告されています。

### バイケイソウ

バイケイソウだけではなく、オオバイケイソウ、コバイケイソウにも中毒症状を起こす要因があります。シュロソウ科の多年草で、梅の花に似ているのでバイ。ケイランという蘭の葉に似ているのでケイ。それらをくっつけてバイケイソウと名づけられました。オオバギボウシやコバノギボウシ、ギョウジャニンニクと間違われやすく、体内に入ると嘔吐、手足のしびれ、痙攣などが起こります。バイケイソウの根は、殺虫剤にも使われていたほどです。



### ドクニンジン

草丈80~180 cmになる二年草。根は円錐形で肥厚する。茎は中空で太く、上部は分枝して広がる。葉は2~3回羽状複葉。小葉は卵状披針形、長さ1~3 cm、さらに深裂する。茎、葉柄に紫紅色の斑点があり、植物全体に光沢がある。花期は7~9月。大形の複散形花序に白色五弁の約3 mmの小花をつけ、花の先端は内に曲がり、その中の1枚だけが大きい。果実はほぼ球形で、直径は約3.5 mmで、熟すると2分果に分かれる。

# トリカブト

日本に 30 種類以上あると言われているトリカブトですが、これはニリンソウに似ていて間違われやすいです。キンポウゲ科の多年草で、観賞用にも栽培されていますが、山野に自生しています。毒は特に根茎に多く含まれていて、体内に入ると、手足の痙攣、しびれ、呼吸麻痺に陥ります。この呼吸麻痺で命が危なくなります。この毒を利用して狩猟を行っていたのがアイヌの人たちでした。



エン ルム カタ オマン カムイ エペンタ ウェ 「とがった矢尻に 乗った神が 山奥へ向かう」という意味のこの歌は十勝伏古（芽室町）のアイヌ・コタンのウポポ（伝承民謡）の一節です。矢じりに乗った神は熊をも倒す力を秘めるスルク・カムイ、つまり矢毒に用いるキンポウゲ科の有毒植物の一つであるエゾトリカブトの根に宿る神のこと、トリカブトという和名は夏から秋にかけて咲く花が舞楽の常装束の冠として被る鳥兜に似ていることに由来します。この草に含まれる毒はアコニチン、メスアコニチン、ジェスア

コニチンなどのアルカロイドで、即効性の猛毒です。純粋のアコニチンは3mgほどが大人に対する致死量といわれています。しかしその含有量はトリカブトの種類（世界には約300種）によって異なり、ほとんど毒性を示さないものもあります。

特に毒性の強いものとして知られる種は、ヨーロッパ産のナペルス・トリカブトやヒマラヤ山地を中心に分布しているフェロックス・トリカブトなどであります。植物毒の多くはアルカロイドや配糖体だが、特定の物質が単独で用いられることは稀で、アイヌがトリカブト毒にエゼテンナンショウや水生昆虫のマツモムシの毒を加えるように、普通は数種類の毒物を混用しています。トリカブトを使うことからアコニット毒矢文化圏と呼んでいます。

世界には、四つの毒矢文化圏があり、どんな毒を使うかは、当然のことながら、それぞれの民族の生活圏内の植生によって決まる。その実態を北半球の暖帯から寒帯、東南アジア、中南米、アフリカの4地域に分けたのが下の図です。



観察会予定			
藻岩山登山観察会	日時	5月19日(金) 10:00~14:30	集合場所: 慈啓会病院前登山口
小樽旭展望台観察会	日時	6月3日(土) 商大~旭展望台	中央バス商大終点前集合 9時
森の新緑観察会	日時	6月4日(日) 10:00~12:30	集合場所: 自然ふれあい交流館

<文責>  
小林 英世